

決算の概要

平成29年度

平成29年度の決算が、5月28日に開催された第197回組合会で承認されました。
各経理の決算概要は次のとおりです。

経理別収支決算一覧表

(単位：千円)

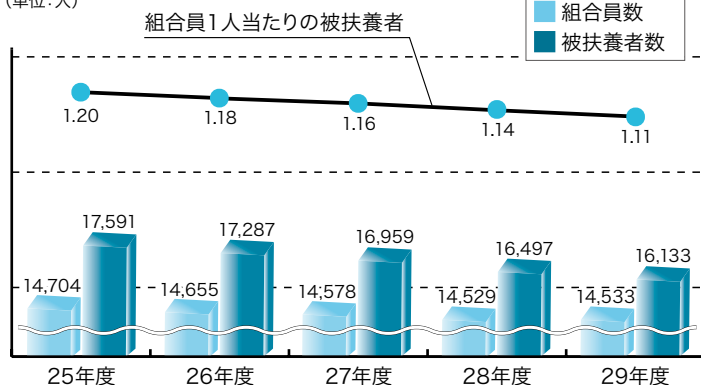
区分	収入	支出	当期利益金 (△当期損失金)
短期経理	10,229,949 921,528	10,294,841 909,491	△ 64,892 12,037
厚生年金保険経理	19,726,669	19,726,669	0
退職等年金経理	1,275,134	1,275,134	0
経過的長期経理	76,503	76,503	0
経過的長期預託金管理経理	60,865	60,865	0
業務経理	292,035	278,154	13,881
保健経理	396,183 5,446	386,338 5,446	9,845 0
宿泊経理	280,517	155,748	124,769
貯金経理	644,569	700,543	△ 55,974
貸付経理	78,175	79,330	△ 1,155
物資経理	8,576	9,192	△ 616

※短期経理の欄の上段は医療保険、下段は介護保険の収支を示す。

※保健経理の欄の上段は保健事業、下段はメンタルヘルス対策事業の収支を示す。

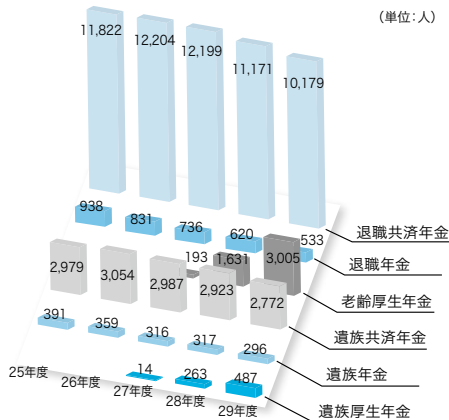
組合員数と被扶養者数の推移 (任意継続組合員を除く。)

(単位：人)



年金種類別支給件数の推移

(単位：人)



年金種類別支給件数・1件当たり金額

(単位：件、円)

区分	支給件数	1件当たり金額
退職共済年金	10,179	1,230,906
遺族共済年金	2,772	1,285,000
退職年金	533	2,044,941
遺族年金	296	1,174,076
老齢厚生年金	3,005	932,103
遺族厚生年金	487	1,157,819

この経理は、平成27年10月の被用者年金一元化以降の厚生年金給付等の原資となる組合員保険料・負担金を収納し、全国市町村職員共済組合連合会(以下「全国連合会」という。)へ納付する経理です。
平成29年度は、197億2670万円を収納し、全額を全国連合会へ納付しました。

厚生年金保険経理

この経理は、平成27年10月の被用者年金一元化以降、それまでに裁定された公務障害給付等に係る負担金を収納し、全国連合会へ納付する経理です。
平成29年度は、7650万円を収納し、全額を全国連合会へ納付しました。

経過的長期経理

この経理は、平成27年10月の被用者年金一元化以降、職域年金部分廃止後の新たな年金として創設された退職等年金給付及び平成27年10月以後に裁定された公務障害給付・公務遺族給付の原資となる掛金・負担金を収納し、全国連合会へ全額納付する経理です。
平成29年度は、12億7510万円を収納し、全額を全国連合会へ納付しました。

退職等年金経理

平成29年度決算概要

短期経理

〈短期給付関係〉

29年度は、財源率を前年度より5.94%引き上げた103.92%とし、3年ぶりに全国連合会が実施する財政調整事業・特別財政調整事業の交付金を受ける運営となりました。

収入総額は、掛金・負担金など102億2990万円で、高齢者医療運営円滑化等事業費の国庫補助金8450万円が交付されたことや給与のプラス改定が影響し、前年度と比べ5億8760万円の増となりました。

一方、支出総額は、102億9480万円で、高齢者医療制度に係る拠出金等の大幅な増加により、前年度と比べ10億4620万円の増となりました。高齢者医療制度に係る拠出金等の総額は48億5380万円で、支出額に占める割合は47%を占めており、依然として短期経理の財政を圧迫しています。

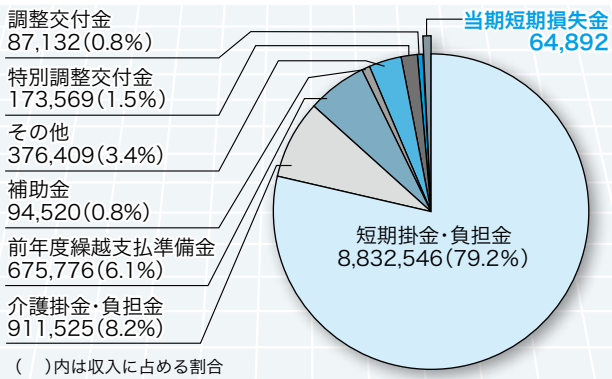


収支決算の結果、6490万円の当期損失金が生じたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。
※医療費の状況については、10Pをご覧ください。

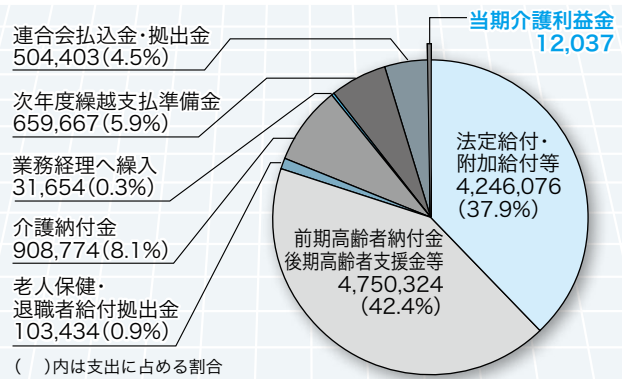
〈介護保険関係〉

29年度は、財源率を前年度より1.92%引き上げた14.32%とし運営した結果、介護保険事業費補助金1000万円が交付されたことなどにより1200万円の当期利益金を計上しましたので、全額を介護積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

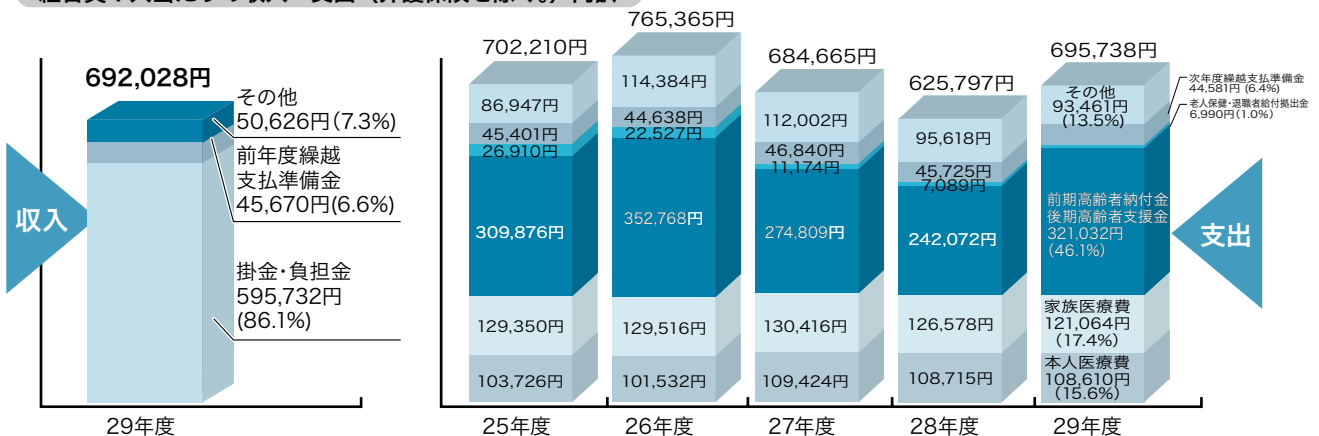
収入 11,151,477 (単位:千円)



支出 11,204,332 (単位:千円)



組合員1人当たりの収入・支出 (介護保険を除く。)内訳



業務経理

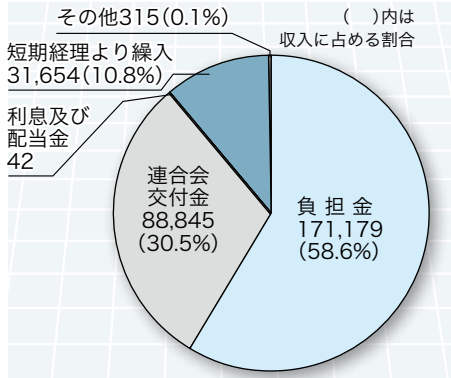
この経理は、短期給付及び長期給付事業の事務に要する費用を賄う経理です。

29年度の収入総額は、地方公共団体からの負担金、短期経理からの繰入金及び全国連合会からの交付金など2億9200万円となりました。

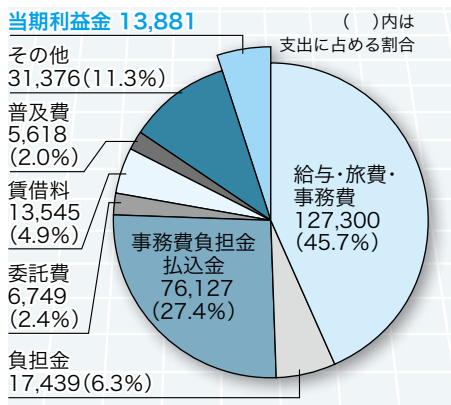
一方、支出総額は、2億7810万円で、諸経費の節減に努めた結果、事業計画より1550万円の減となりました。

収支決算の結果、1390万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

収入 292,035 (単位：千円)



支出 278,154 (単位：千円)



保健経理

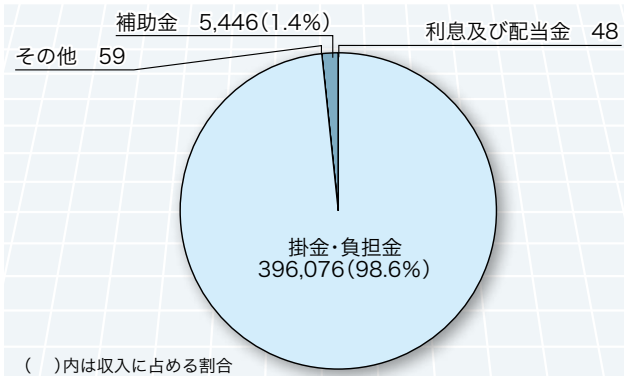
この経理は、人間ドック等の利用助成や特定健康診査及び特定保健指導など組合員及びその被扶養者の健康の保持・増進事業を行う経理です。

収入総額は、掛金・負担金など4億160万円となり、前年度と比べ120万円の減となりました。

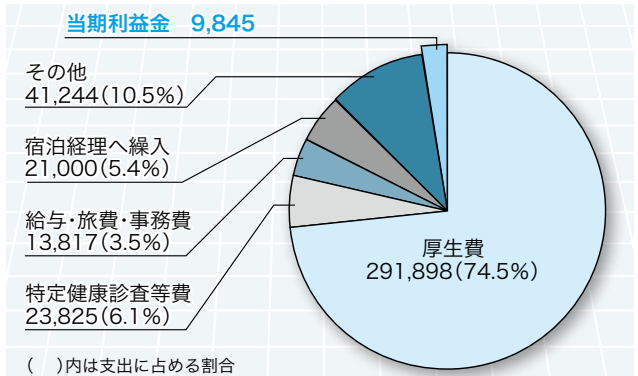
一方、支出総額は、人間ドック等の利用助成などを行う厚生費2億9190万円をはじめ、特定健康診査等費2380万円など、3億9180万円となりました。

収支決算の結果、980万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

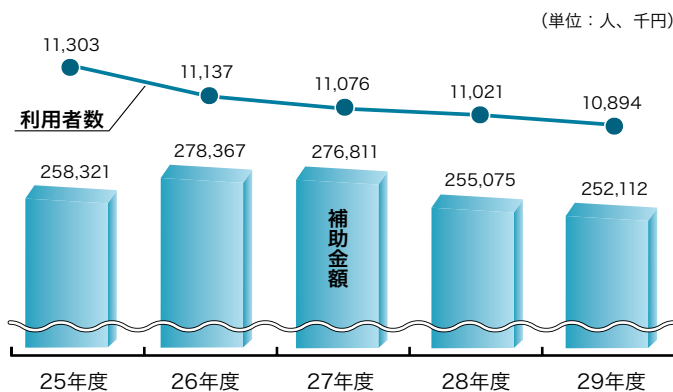
収入 401,629 (単位：千円)



支出 391,784 (単位：千円)



人間ドック・脳ドック利用者数及び補助金額の推移



(備考) 人間ドック等利用助成金を平成25年度は14,000円から24,000円に、平成26年度は27,000円に引き上げ、平成28年度は25,000円に引き下げた。

保健事業実施状況

項目	金額 (千円)	割合 (%)
人間ドック利用助成	244,843	77.6
脳ドック利用助成	7,269	2.3
特定健診・特定保健指導	23,825	7.6
愛媛共済会館利用助成	11,417	3.6
がん検診等補助	6,373	2.0
福祉施設利用助成	695	0.2
インフルエンザ予防接種補助	11,789	3.7
県・市町連携メンタルヘルス	5,422	1.7
その他	4,090	1.3
合計	315,723	100.0

平成29年度決算概要

宿泊経理

この経理は「えひめ共済会館」の経営を行う経理です。

収入総額は、施設収入95330万円や本年4月からの改修工事に係る貯金経理からの繰入金1億2280万円など2億8050万円となりました。

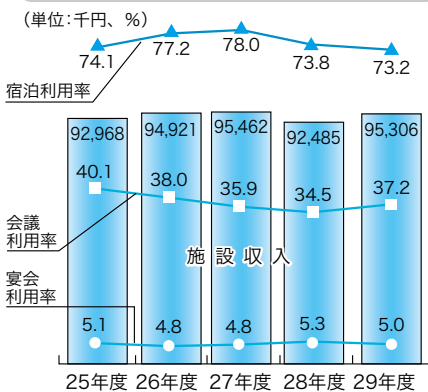
一方、支出総額は、諸経費の節減に努めた結果、1億5570万円となりました。

収支決算の結果、1億2480万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

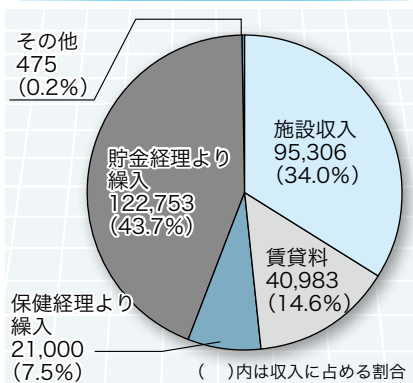
えひめ共済会館は、老朽化・防災対策に係る改修工事のため、本年4月から8月末まで休館しております。より、安全・安心で快適な施設として9月1日リニューアルオープンいたしますので、組合員の皆さまのさらなる御愛顧を賜りますようお願いいたします。

なお、9月1日以降のご予約については、休館中も午前7時30分から午後7時30分まで承っております。

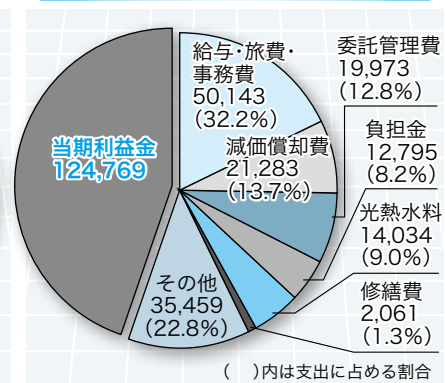
えひめ共済会館施設収入及び利用率の推移



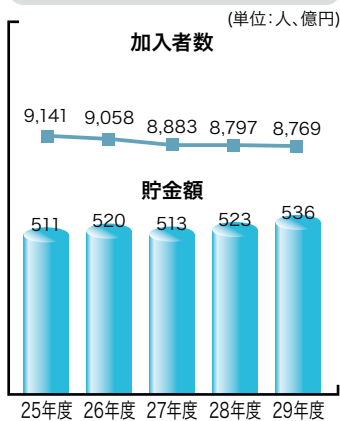
収入 280,517 (単位: 千円)



支出 155,748 (単位: 千円)



組合員貯金額・加入者数の推移



この経理は、組合員の皆さまの生活設計に寄与することを目的とした共済貯金事業を行う経理です。貯金者数は8769人で、組合員加入率は前年度から0.25%減の59.41%となりました。

収入総額は、資金運用による利息及び配当金など6億4460万円であり、前年度と比べ1360万円の減となりました。

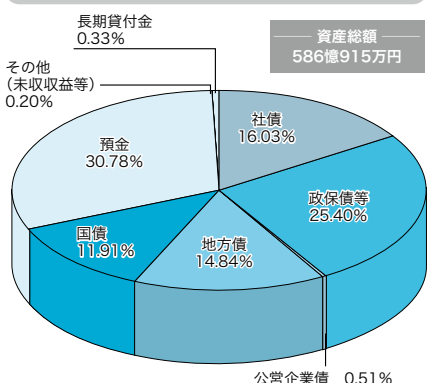
一方、支出総額は、支払利息5億2880万円や宿泊経理への繰入金1億2280万円など7億50万円となりました。

収支決算の結果、5600万円の当期損失金を計上しましたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。

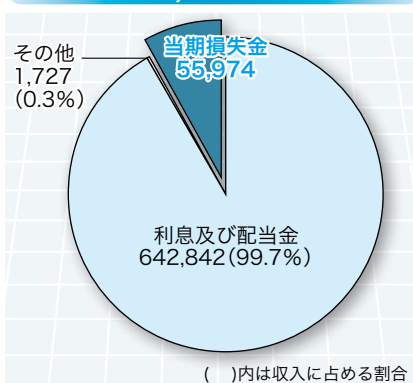
貯金経理

この経理は、組合員の皆さまの生活設計に寄与することを目的とした共済貯金事業を行う経理です。

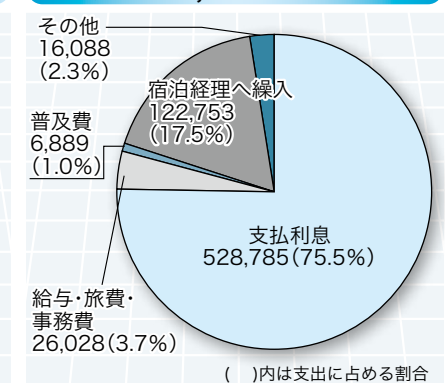
平成29年度決算 貯金経理 資産構成割合



収入 644,569 (単位: 千円)



支出 700,543 (単位: 千円)



貸付経理

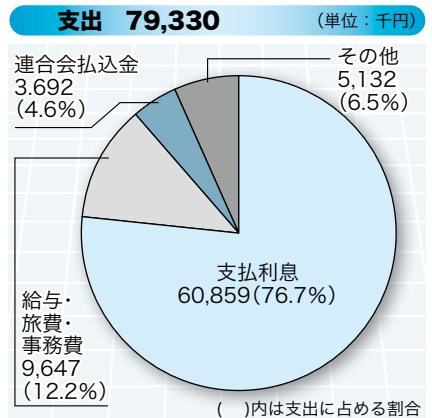
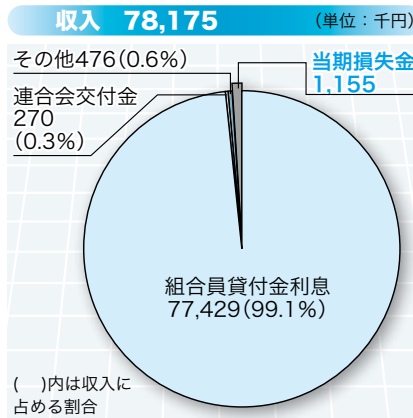
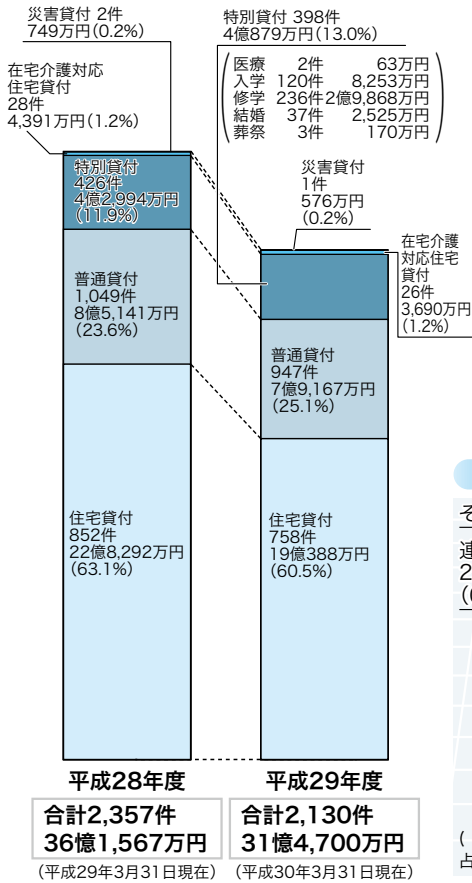
この経理は、年金の原資である積立金から資金を借り入れて、組合員の皆さまに貸付けを行う経理です。

収入総額は、7810万円で、本年1月に組合員貸付利率を1・4%引き下げ年利1・26%としたことから、前年度と比べ2730万円の減となりました。

一方、支出総額は、7930万円で、貸付利率の引下げに伴い、経過的長期預託金管理経理からの借入利率が1・4%引き下げられたことから、前年度と比べ2680万円の減となりました。

収支決算の結果、120万円の当期損失金が生じたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。

組合員貸付金の状況



物資供給事業販売状況 (単位：件、千円、%)

販売品目	件数	金額	割合
自動車	66	99,455	97.2
自動二輪車	3	2,367	2.3
家具	1	210	0.2
その他	2	342	0.3
合計	72	102,374	100.0

この経理は、組合員の皆さまが、本組合が契約する「指定店」で自動車等生活必需品を購入する際に、購入代金を本組合が一括して立替払いする事業を行う経理です。

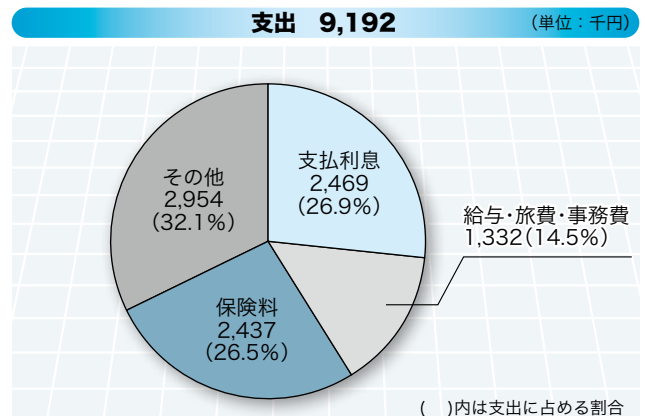
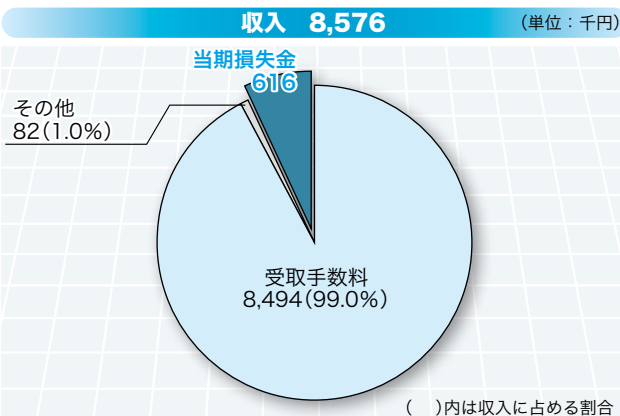
収入総額は、指定店からの販売手数料や物資利用組合員からの立替金利息など860万円となりました。

一方、支出総額は、支払利息や貸付事故に係る保険料など920万円となりました。

収支決算の結果、60万円の当期損失金を計上しましたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。

なお、本年1月から立替金利率を1%引き下げ、年利1・9%としています。

物資経理





経過的長期 預託金管理経理

この経理は、平成27年10月の被用者年金一元化以降、全国連合会から年金積立金の一部の預託を受けて、管理・運用を行う経理です。

収入総額は、運用により生じた利息及び配当金など6090万円で、金額を全国連合会へ払い込みました。

資金運用に関する情報は、本組合のホームページで7月2日に公開しています。